

社会を明るくする運動にご協力を！

社会を明るくする運動街頭啓発キャンペーン

第67回社会を明るくする運動期間中の7月24日、八雲町保護司会熊石支部で街頭啓発キャンペーンを行いました。保護司の皆さんと相沼保育園の園児が、国道を通行する車両約30台に啓発用品を配布しながら、運転手などに「明るい社会をお願いします」と元気よく呼びかけました。



日本人も外国人も安心して暮らせるように！ 落部交通安全・防犯講話

6月29日、落部町民センターにて、外国人技能実習生が安全で安心して暮らせるようにと、八雲警察署の主催で交通安全・防犯講話が行われました。落部地区の水産加工場や漁家において技能を学んでいる中国やベトナム、インドネシアなど、多くの外国人技能実習生が、「犯罪に巻き込まれないためには」「Wi-Fi利用時の注意事項」「地震・津波の避難」など、日本での生活のルールなどについて、通訳を交えながら真剣に話を聞き入っていました。また、講話の後には、同センター駐車場にて「歩行者が来たら自転車から降りる」など、自転車乗車マナーの実技も行われました。



八雲総合病院グランドオープン記念！ 八雲高校ミニコンサート

6月30日と7月5日の2日間、八雲総合病院が5月にグランドオープンしたことを記念し、八雲高校吹奏楽局によるミニコンサートが行われ、入院・外来患者や見舞いに来た家族らは、延べ約200名が演奏を楽しみました。ハナミズキなどのポップな曲のほかスザート舞曲などが演奏されました。局長の笹田さんは「アンサンブルなので息を合わせるのに大変でした。お客さんに楽しんでもらえるよう頑張りました」と笑顔で語りました。



子どもと地域がつながる場づくりを！ くまい子ども食堂 開催

食を通じて、子どもや地域の色々な人たちがつながる「場づくり」を目指そうと「くまい子ども食堂」が、ふれあい交流センターくまいし館で7月12日に行われ、集まった親子ら25名が手作りの料理を味わいながら和やかに時間を過ごしました。この日は、ゆでたジャガイモを練りこんだジャガイモ麺のカレーうどんとフルーツ杏仁豆腐を、熊石食生活改善協議会のメンバーと一緒に調理しました。児童たちはできあがったカレーうどんを味わいながら「自分で作ったうどんは格別においしい」と話していました。

